

同和教育の視点に立った道徳の授業・同和教育講演会



< 岩村守指導主事によるご講演 >

6月9日(木)の学習参観日では、全学級同和教育の視点に立った道徳の授業を公開しました。昨年度から市の研究指定を受け、同和教育について研修を深めてきました。今回は、保護者の皆様にも同和教育について授業を見てもらい理解を深めていただくため計画しました。

その後、市の教育委員会指導主事 岩村守様から「同和教育はいじめをなくす」という演題でご講演をいただきました。この講演会は、学校とPTA教養育成部の共催で行われました。50名を超える皆様の参加があり、有意義な講演会となりました。

当校では、研究主題「互いに認め合い、差別や偏見を許さない子どもの育成」に向け、同和教育の視点に立った道徳の授業を中心に、次のような力を育成するため、目指す子ども像を設定して校内研修を進めています。

< 身に付けさせたい力 >

いじめや差別を「しない、させない、許さない」意志
 自分と違う考えや生き方を理解し、受け入れる。
 人の心の痛みに関心し、自分の問題として考え、行動し解決していく。
 部落差別の歴史を正しく理解し、差別の現実から学ぶ。

< 学年部ごとの目指す子ども像 >

- < 低学年 > だれとでも仲よくし、身の回りの差別問題をなくそうとする子
- < 中学年 > 人の苦しみや悲しみが分かり、身の回りで見られている差別問題に気付き、なくそうとする子
- < 高学年 > 差別や偏見を受けた人の気持ちに関心し、身の回りや社会で見られている差別問題を見抜き、なくそうとする子



< 各学年の同和教育の視点に立った道徳の授業風景 >

生活目標について

<p>< 5月の生活目標 > ろうかは「はさみ」(廊下は はしらず ・さわがず・みぎがわを 静かに歩く) 3分前行動(時計を見て行動する/放送 が入ったら行動する)</p>	<p>< 6月の生活目標 > 「友だちのよさをみつけよう」 「ほかほか言葉」をふやそう * ありがとう・すてきだね・うれしかったよ がんばっているね・やさしいね・・・ 自分への花束をつくろう</p>
<p>自分のために・みんなのために気を付けてい ます。 ・「廊下ははさみ」と「3分前行動」を合言葉に して、声を掛け合って守っています。 ・集団行動がしっかりしてくると、学校全体の 活動がしやすくなります。</p>	<p>“心の花束”をつくります。 友だちから、先生から、おうちの方から、自分の 「いいところ」をお花のカードに書いてもらいま す。そのお花で自分のいいところがいっぱいつま った、“世界に1つだけの花束”をつくります。 きっと、すてきな花束になることでしょう。</p>
<p>こんなすてきな「あなたの紫雲寺小学校」にぴったりな行動を見つけました。</p> <p>♥みんなが1年生をよく気遣ってくれています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・けがをして困っていた子を、保健室に連れて行ってくださいます。 ・給食の食缶を重いからと、1年教室に届けてくれる人がいます。 ・運動会の時、1年生の椅子を応援席まで運んでくれた人がいます。 <p>* 1年生にとっては、大変なことばかりですので、とてもありがたいです。</p> <p>♥1年生でも、他の人が気付かないことを進んでしてくれる人がいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室の花瓶が風で倒れた時に、進んで散らかった花の片付けを手伝ってくれた人がいます。 ・床に落ちていたごみを、進んで拾ってくれた人がいます。 <p>* 他の人のために進んで動いてくれる人たちに、支えられています。</p>	

〔6月の予定〕

- 15日(水) 6年生修学旅行(佐渡方面: ~16日)
- 16日(木) 4年校外学習(県庁・自然科学館)
- 21日(火) 児童朝会、全校漢字テスト
- 22日(水) 虫歯予防教室、保小連絡会、ファミプレ
- 23日(木) 校内研修のため(5限放課)
- 27日(月) 立体作品展(~7月1日)
- 28日(火) 市教委計画訪問(5限放課)
- 29日(水) 耳鼻科検診
- 30日(木) 児童集会



〔7月の予定〕

- 6日(水) 教育鑑賞(下学年)ファミプレ
- 7日(木) Webテスト(国)
口座振替日
- 8日(金) Webテスト(算)
- 12日(火) 県小教研テスト(国)
- 13日(水) 県小教研テスト(算)
- 19日(火) 紫雲寺地区4校合同フォーラム
19:00~ 紫中
- 21日(木) 短縮4限、地域子ども会
- 22日(金) 短縮4限(~25日)
- 26日(火) 第1学期終業式

〔立体作品展のご案内〕

期 間 6月27日(月)~7月1日(金) 自由に見に来てください。
 展示場所 低学年 第1ホール 中・高学年 第3ホール
 各学年の作品名等は、後日ご案内します。



新発田市立紫雲寺小学校

学校だより 6月号

<http://shiunjies.shibata.ed.jp> 平成23年6月14日

立ち上がる強さも

紫雲寺小学校長 小林 幹雄

各地で梅雨入りのニュースが聞かれ、県内も梅雨入りしたようです。雲間から漏れる陽射しは強くなってきましたが、吹く風が心地よいさわやかな日が続いています。松林からは澄み切ったカッコウの鳴き声が聞こえてきています。

先月の運動会では平日の開催にもかかわらず大勢の皆様から応援をいただきありがとうございました。結果は競技、応援ともに白組の勝利でしたが、最後の種目まで勝敗が分からない白熱した展開で、子どもたちが力を出し切った素晴らしい運動会でした。力強い応援、温かい声援、本当にありがとうございました。

さて、今月8日に打ち上げられ、10日に国際宇宙ステーションとのドッキングに成功した有人ロケット『ソユーズ』。その搭乗者に、日本人宇宙飛行士の古川聡さんがいます。古川さんは、幼い頃の記憶にアポロ11号の月着陸のテレビ中継があるそうです。父親が、歴史的な日だからと、予定していた家族旅行を中止して家族でテレビを見ていたそうです。そして、この月着陸を見たことが「いつか宇宙に行きたい」という夢につながったと聞いています。古川さんが、子どもの頃に本気でウルトラセブンになりたかったというのもそんな幼い頃の記憶があったからかもしれません。夢と言えば大リーグで10年間第一線で活躍し続けるイチロー選手も子どもの頃の夢を実現した人です。小学生の頃から夢の実現に向けて何をすべきか考え努力を積み重ねていった話はすごいとしか言いようがありません。夢をもつこと、実現に向けて努力することは、前向きに生きる上でとても大切なことだと思います。

「誰もが夢を叶えられる訳じゃない。夢に挫折したその後が大切なんだ」先日そんな文章に出会いました(どこで見たか記憶が定かではないのですが) プロ野球選手やJリーガーを夢見ても実現できるのはごく限られた人です。成長するにしたがって、世の中や自分を知るようになると、夢も現実味を帯びてきます。しかし、だからといって夢をもつ必要はないとは思いません。「こうしたい」「～ができるようにしたい」と、たとえ身近なことでも目的をもって生きることは自分を高めていく上でとても大切なことです。

東京都品川区立大崎中学校 浅田和伸校長は、『これから本当に必要なのは、試験で点数をとる力などではなく、思い通りにならないときに、自分を失わず、それに耐え、前向きの気持ちで乗り越えていく「心の勁(つよ)さ」だ。こういう力は、経験の中でしか育たない。子どもたちが、自分で解決する経験を積ませることが、本当の意味で教育的だ。』(時事通信社内外教育 H23.3.29 より抜粋)と述べています。

やり遂げた満足感や成功感は自信につながります。その自信が次への意欲につながっていきます。しかし、いつでも成功する、成就するとは限りません。うまくいかなかった時、失敗した時、それを乗り越える経験も同じくらいに、またはそれ以上に大切です。見えないように手を添えて、自分の力で立てるようにするのが大人の役割でしょうか。

NRTの結果を掲載しました。どの学年も全国と同等という結果でした。しかし、学級内で学力差が見られたり、国語の読解力や算数の応用力に弱さが見られました。学力は子どもたちの未来を支える土台となるものです。この結果を生かして、一層の向上に向けて指導に力を入れていきます。

2年生が植えたトマトやキュウリがぐんぐん生長しています。今月末にはプール水泳も始まります。子どもたちが大好きな夏はもうすぐです。